

会 議 録

- 1 会議の名称 第2回 富士川町総合計画審議会
- 2 会議日時 令和6年1月30日(火) 19時00分から20時00分まで
- 3 開催場所 富士川町役場 1階 101・102・103会議室
- 4 出席者数 (1)委員 総合計画審議会委員 出席19名 欠席6名
(2)執行機関 政策秘書課 5名
(3)その他 株式会社ぎょうせい 1名
- 5 議題 (1)町民アンケートの集計結果について
(2)まちづくりワークショップについて
(3)委員報酬のお支払い手続きについて
(4)その他
- 6 会議資料の名称 資料① 目次資料
資料② 町民アンケート集計結果(一般)
資料③ 町民アンケート集計結果(小中学生)
資料④ 町民アンケート集計結果(転入者)
資料⑤ まちづくりワークショップ日程調整表
資料⑥ まちづくりワークショップ周知組回覧チラシ
資料⑦ 前回ワークショップ課題一覧表
資料⑧ 前回ワークショップ解決策一覧表

7 発言の内容

(1)町民アンケートの集計結果について

【事務局】資料①～④に基づき説明

一般用アンケートは回収率34.35% (687/2,000)

小中学生アンケートは回収率90.53% (220/243)

転入者アンケートは回収率28.26% (26/92)

個別の項目について資料を基に逐次説明。

【委員】

3点、意見も交えてお聞きしたい。1点目、前回アンケートの回収率が54.8%で、今回が34.35%となっている。町政への不信や町民の意識の変化があると思うが、回収率が減ったということの意味を皆さん考えておいた方がよいのではないか。

2点目、他の市町村も同様の取り組みを行っているだろうから、そのデータが見てみたい。圧倒的に回収率が高い市町村や、富士川町より低い市町村など、比較するデータが欲しい。

3点目、アンケートの中ほどの回答項目の中に「普通」というのがあるが何だか分からない。他の設問では具体的な選択肢が回答項目になっているが、「普通」という項目は適当なのか。

【事務局】

1点目は、行政への関心の低下がアンケートに反映されたのではと考える。

2点目は、分かる範囲でデータを見つけて皆さんにお示しするようにしたい。

3点目は、満足度を計る趣旨の設問のため、適切と考えて回答項目として設定している。

(2)まちづくりワークショップについて

【事務局】 資料⑤～⑧に基づき説明

各地区とも2月中に1回目を実施する。ワークショップ形式で、1回目は課題を出し合い、2回目ではその解決策を考えていく。

【委員】

審議会の委員はどのような形でこれに参加すればよいか。

【事務局】

いち町民として参加していただければ。委員だからという役割や分担があるわけではない。地元のワークショップには積極的に参加していただきたい。地元以外の地区については、お住まいでない方が意見を出すというのは趣旨が異なってくるが、オブザーバーとして見学をしていただく分には差し支えないと考える。

(3)委員報酬のお支払い手続きについて

【事務局】 委員報酬の支払のための書類提出の依頼と支払予定日について説明。

(4)その他

【委員】

第三次の総合計画を作るにあたって、必要なアンケートを実施した印象だが、町の職員の方々にはアンケートは行わないのか。収賄事件を起こしてしまった、それを許してしまった、というようなことから始まって、職員の声を聞けるようなアンケートが必要だと思うが。

【事務局】

今おっしゃっていただいたことは、総合計画とは全く関係がない部分のお話だと考える。職員は日々、法令に則って業務をさせていただいている。無作為抽出の中には職員も含まれており、いち町民として回答をしている。職員を対象としたアンケートを別に実施するということは考えていない。

【委員】

策定スケジュールの中に庁内ワーキングがあるが、どのような状況か。

【事務局】

アンケートとワークショップが終わったところで、町民の意見と職員の意見の乖離を見たりなど、そこから調整していくワーキングとなっている。現状は深い話にはなっておらず、これから総合計画を作っていく、という話になっているところである。

【事務局】

事務局から次回日程を案内。ワークショップの結果がまとまり次第、3月中旬頃を予定に第3回審議会を開催予定。